

上下水道施設におけるDXに関する最新動向と展望 調査専門委員会
設置趣意書

公共施設技術委員会

1. 目的

上下水道施設におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）に関する取り組み，現在の上下水道事業者のニーズや導入状況を調査して課題を抽出するとともに，他分野における最新動向も調査して，上下水道事業における展望を述べ将来へ向けた提言をする。

2. 背景および内外機関における調査活動

近年，公共インフラ施設においては，老朽化施設が急増する中で人口減少による財政難や技術者の減少に加え，自然災害への対応など重要課題が多岐に渡っている。こうした中で，上下水道分野においても，運転監視や維持管理の効率化・省力化，品質の向上などに寄与するDXの推進が求められている。

これまで公共施設委員会では，ICT活用などデジタル技術に関連する調査・検討テーマを扱ってきており，全国の上下水道事業体の実態調査やデータ分析などを通じて，上下水道施設の効率的運用に資するべく様々な提言を行ってきた。今回，上下水道分野における各課題解決に重要となってきたDXに関して調査・検討し，最新の動向や展望等について論じることは，将来に向けた上下水道事業への新たな提言となる。

3. 調査検討事項

- 1) DXに関する国・自治体の取り組み
- 2) 上下水道施設におけるDXに関する取り組み
- 3) DXに関する他分野の取り組み
- 4) 上下水道施設におけるDXに関する将来への取り組み
 - ① 今後期待される上下水道施設のDXの展望
 - ② 将来への提言

4. 予想される効果

上下水道施設におけるDXについて，多様な視点から調査・報告することにより，今後の上下水道施設へのDX導入推進の一助となる有益な情報を提供する。

5. 調査期間

2024年（令和6年）6月～2026年（令和8年）11月

6. 委員会の構成（職名別の五十音順に配列）

職名	氏名	（所属）	会員・非会員区分
委員長	藤本 康孝	（横浜国立大学）	会員
委員	金谷 道昭	（東芝インフラシステムズ）	会員（5月から正員予定）
委員	神成 英治	（東京都水道局）	非会員
委員	北川 巧	（日立製作所）	会員（5月から正員予定）
委員	添田 和敬	（横浜市下水道河川局）	非会員
委員	徳田 渉	（メタウォーター）	会員
委員	富田 一商	（明電舎）	会員（5月から正員予定）
委員	西田 尚央	（三菱電機）	会員（5月から正員予定）
委員	熱田 孝	（東京都下水道局）	非会員
委員	保科 聡	（日水コン）	会員（6月から正員予定）
幹事	白尾 真利	（東芝インフラシステムズ）	会員（5月から正員予定）
幹事補佐	前原 洋樹	（東芝インフラシステムズ）	会員

※ 本調査専門委員会は、従来電気学会が扱っていた技術領域の枠組みを越える新技術を扱う調査専門委員会の新設時の正員率(1/2を下回らない)が適用されるようご配慮いただきたい。

7. 活動予定

委員会 6回/年

8. 報告形態

技術報告をもって成果報告とする。

以上